

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

全国高等学校女子硬式野球連盟

2023年3月1日

はじめに

選抜大会の開催に際し、今大会から有観客にしますが、出場するチームはもとより、大会運営にあたる関係者等すべての関係者の安全を守ることが重要な課題であり、新型コロナウイルス感染症対策ガイドラインを策定いたしました。

本連盟、加須市共催大会全てにおける試合は、本ガイドラインに従い試合・運営をいただきますようお願い申し上げます。

1. 基本方針

大会主催者、大会関係者及びチーム関係者は、試合、移動、宿泊等にあたって、新型コロナウイルス感染症防止対策の基本となるソーシャルディスタンスを確保すること。3密を避け、手洗い、うがい、手指消毒を常に意識しながら行動する。

2. 球場に入る際の感染予防

(1) チーム関係者

① 「健康チェックシート表(チーム用)」を記入し各チームで1か月程度保管してください。主催者への提出は不要ですが、提出の必要があった場合は速やかに対応してください。

同チェックシートの質問3項目のいずれかに「有」のチェックがあった者に対する球場への入場の可否については、大会主催者がチーム責任者と協議して判断する。

②関係者受付(入口)でアルコール消毒液による手指消毒を行う。

③各自マスクを持参してください。

(2) 大会関係者・報道関係者

①次の事項に該当する場合は、球場内への入場は見合わせること。

(1) 体調がよくない場合(発熱、風邪の症状、倦怠感、嗅覚や味覚の異常)

(2) 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合

(3) 大会前14日以内に政府から入国制限、入国後の経過観察を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

3. その他の感染対策

- ・本部席等、諸室の換気は、使用するものが定期的に換気を行う。
- ・本部席等、諸室及びダッグアウトの消毒は、使用前後で実施する。
- ・開会式、閉会式および表彰式等はできる限り規模を縮小して実施する。

4. 感染者が発生したときの対応

(1) 大会前日までの対応

①チーム関係者

- ・チーム内の体調不良者が新型コロナウイルスに感染していると診断された場合、チーム代表者は大会主催者に報告する。
- ・大会主催者は、当該チームの大会出場の可否について協議する。

②大会関係者

- ・感染または感染の疑いがある場合、速やかに大会主催者に報告し、大会運営への参加を自粛する。

また濃厚接触者（その可能性がある者を含む）も大会運営への参加を自粛する。

（2）大会期間中の対応

①チーム関係者

- ・チーム内の体調不良者が新型コロナウイルスに感染していると診断された場合、チーム代表者は大会主催者に報告する。

②大会関係者

- ・上記（1）②に同じ

③大会日程の変更等について

- ・大会の中止を含む日程の変更は、大会主催者が協議の上、決定する。

④当該チームの出場について

- ・出場の可否については、大会主催者が協議の上、決定する。

（3）大会終了後の対応について

- ・チーム関係者等に感染していることが判明した場合、保健所等の指示、指導に従うものとする。

その他

- ・本ガイドラインに記載されていない事象が発生した場合、大会主催者が協議の上、対応する。
- ・本ガイドラインの内容は、今後も感染症の動向や政府の対処方針の改定等を踏まえ、適宜見直しを行う。